

大学院国際文化研究科 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

○国際教育文化専攻

大学院国際文化研究科国際教育文化専攻は、本学の目的にのっとり、学術の理論及び応用を教授研究し研究者及び社会に貢献できる有能な専門職業人を養成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に修士（国際文化）の学位を授与します。

- 1 国際教育に関する高度な専門的知識を修得し、教育実践面で応用できる。（国際教育）
- 2 国際的教養の修得を基礎に、自ら研究課題を見出して主体的に学習できる。（国際的教養）
- 3 豊かな言語能力と表現力を修得し、教育活動に実践できる。（言語能力）
- 4 高い倫理観、広く豊かな教養と人間性を修得し、社会に貢献する教養人としての確かな行動ができる。（自己形成）
- 5 高度な専門的知識、問題解決能力とコミュニケーション能力を修得し、社会人として有効な役割を果たすことができる。（態度）

○国際地域文化専攻

大学院国際文化研究科国際地域文化専攻は、本学の目的にのっとり、学術の理論及び応用を教授研究し研究者及び社会に貢献できる有能な専門職業人を養成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に修士（国際文化）の学位を授与します。

- 1 アメリカ・中国・日本の文化について、文学・歴史・社会・思想・言語など重点的な研究対象としている分野において、高度な専門的知識を修得し、それらを現代社会と関連づけて理解できる。（専門的知識）
- 2 アメリカ・中国・日本について修得した専門的知識を基礎に、自らの研究課題を見出して主体的に学習できる。（自己形成）
- 3 アメリカ・中国・日本の文化を研究し、さらには環太平洋圏諸地域の文化も視野において、相互の文化を比較研究することによって、専門とする地域文化への真の理解ができる。（地域理解）
- 4 国際的視野と感覚を持ち、専門とする地域の言語を使って、専門とする地域の文化について、創造的な分析、発信ができる。（態度）